

令和4年度 消費・安全対策交付金事業（食料安全保障確立対策整備交付金） 事後評価結果一覧表

目的	目標	事業実施方法	目標値及び実績				大阪府の自己評価		第三者の意見
			目標値		実績	達成度	評価	評価の概要	
Ⅱ 伝 染 性 疾 病 ・ 病 害 虫 の 発 生 予 防 ・ ま ん 延 防 止	家畜衛生の推進	高度バイオセキュリティ対応施設整備 焼却炉（感染性廃棄物処理施設）	家畜衛生の推進	4.75時間	4.89時間	96%	A	<p>目標値の1バッチあたり焼却時間について、現状の8.47時間から4.75時間へ、3.72時間の短縮を目標としたが、令和5年度の実績は1バッチあたり4.89時間であり、3.58時間の短縮となった。達成度は96%で評価Aに該当した。概ね目標通りの焼却時間短縮となり、病性鑑定に供した検体を迅速に焼却、病原体を消毒し、バイオセキュリティを向上させることができた。また、焼却時間が短縮したことにより、煙の排出などによる周辺環境への影響も減らすことができた。</p> <p>想定よりやや長時間の焼却時間になった原因としては、新規で導入した焼却炉は、これまでのものと違うメーカーのものであり、構造も異なっていることから、メーカー担当者の助言を受けつつ、慎重に焼却を実施したことによると考えられた。</p> <p>今後は、焼却実績とノウハウを蓄積していくことにより、より短時間で無駄のない焼却を実施し、迅速に病原体の処理を完結させるとともに、周辺環境への影響も減らすよう取り組んでいきたい。</p>	<p>大阪府の畜産の防疫整備強化のため、令和4年度新焼却炉を導入した。新焼却炉を投入することにより、病原体の死滅（焼却）に要する時間を旧焼却炉と比較して3.85時間短縮し、達成度が96%となったことを評価します。本結果は、府の家畜防疫の危機管理体制の強化・高度化だけではなく、焼却炉を設置している周辺環境への影響も軽減され、今後、新焼却炉での焼却実績を蓄積することにより、更なる時間短縮を期待します。</p>